

TYPE OF INDUSTRY

情報通信研究機構

NICT 先端研究

148

ルスの感染拡大防止の
び車自身が検知した情
リティを実現するため
ート電子カーブミラー
は設置する。道路上の
無線通信を用いて車両
見通せない先の見える
に反映するとともに、
に適時通知配信する。
化により、安心・安全
なスマートモビリティ
の実現を可能とする交
通インフラシステムで
ある。

び車自身が検知した情
リティを実現するため
ート電子カーブミラー
は設置する。道路上の
無線通信を用いて車両
見通せない先の見える
に反映するとともに、
に適時通知配信する。
化により、安心・安全
なスマートモビリティ
の実現を可能とする交
通インフラシステムで
ある。

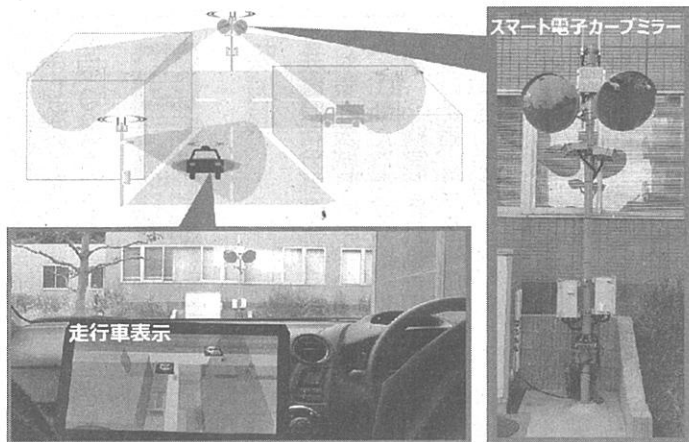
高信頼・高精度なス
マートモビリティを
現するために、さまざ
まなセンサー情報およ
・安全なスマートモビ
悪い場所の路側にスマ
（ダイナミックマップ）

高信頼・高精度なス
マートモビリティを
現するために、さまざ
まなセンサー情報およ
・安全なスマートモビ
悪い場所の路側にスマ
（ダイナミックマップ）

スマート電子 カーブミラー 道路の危険察知事故防

ワイヤレスネットワーク総合研究センター・
ワイヤレスシステム研究室 主任研究員 表 昌佑

2005年筑波大学大学院博士課程修了後、同年N
ICTに入所。ミリ波高速無線通信システム、TV
White Space 無線通信システム、広域無線
ブロードバンドシステムなどのマルチメディアアクセ
ス制御技術に関する研究に従事。博士（工学）。



スマート電子カーブミラー

《左上》信号機がない交差点
《右》スマート電子カーブミラー
《左下》受信された交差点周辺の
交通情報マップ

私の研究するスマ
ート電子カーブミラーの
活用により、車の運転
手や歩行者に道路状況
を教えることで危険を
避けられ、事故の防止
につながるも期待でき
る。

私の研究するスマ
ート電子カーブミラーの
活用により、車の運転
手や歩行者に道路状況
を教えることで危険を
避けられ、事故の防止
につながるも期待でき
る。

さらに、近い将来普
及が期待される自動運
転車を支える未来の交
通インフラとしての活
用や、スマートモビ
リティサービスの期待が
高い介護福祉施設、病
院、ショッピングモ
ールなどへの適用も期待
できる。

さらに、近い将来普
及が期待される自動運
転車を支える未来の交
通インフラとしての活
用や、スマートモビ
リティサービスの期待が
高い介護福祉施設、病
院、ショッピングモ
ールなどへの適用も期待
できる。

（火曜日に掲載）

科学技術・大学

少子高齢化が進むわ
が国では、移動に不安
を抱える高齢者の社会
参画と自立を促す自動
運転車両や、労働力不
足を補う遠隔支援車両
などの「スマートモビ
リティ」の実用化が強
く求められている。さ
らに、新型コロナウイルス